

1 学校図書館及び青少年の読書の振興のための活動の普及、啓発

学校図書館及び青少年の読書の振興のための活動の普及、啓発について、2013 年度（平成 25 年度）は以下の事業を実施した。

（１）学校図書館担当職員のためのスキルアップ及びリカレント教育の実施

サポート講座は、5 月 18 日、7 月 20 日、10 月 5 日、12 月 14 日、1 月 18 日、2 月 22 日の 6 回開催した。

☆（２）第 15 回「学校図書館セミナー」の開催

第 15 回「図書館総合展」において、「学校図書館セミナー」を 10 月 29 日に開催した。今回の主題は「国立国会図書館レファレンス共同データベース事業の内容と活用例」。また、同時開催の図書館総合展において全国学校図書館協議会（以下、「全国 S L A」という）のブースを設けて普及、啓発に努めた。

（３）学校図書館向き図書の選定及び選定図書への件名付与の実施

選定会議は、4 月 8 日・22 日、5 月 13 日・27 日、6 月 10 日・24 日、7 月 8 日・22 日、8 月 26 日、9 月 9 日・24 日、10 月 15 日・28 日、11 月 11 日・25 日、12 月 9 日、1 月 14 日・27 日、2 月 24 日、3 月 10 日・24 日の 21 回開催し、6,867 点が選定された。併せて、選定図書への件名付与を実施した。

（４）読書会の普及

「読書会コーディネータ養成講習会」は、6 月 15 日（山形県）、7 月 6 日（愛媛県）、9 月 28 日（東京都）、11 月 16 日（和歌山県）・30 日（長崎県）に全国 5 地域で開催した。

（５）第 46 回「夏休みの本」（緑陰図書）の選定

全国 S L A 委嘱の特別選定委員会により、「夏休みの本」（緑陰図書）として小・中・高等学校向き 40 点を発表し、当会の Web サイトに掲載した。

（６）学校図書館図書整備協会（S L B A）の図書の選定

S L B A（学校図書館向け図書の共同購入組織）の委嘱を受け、S L B A 用図書を選定した。

（７）第 59 回「青少年読書感想文全国コンクール」の実施

「青少年読書感想文全国コンクール」（毎日新聞社と共催）は、36,334 校から 4,451,392 編の応募があり、2014 年 2 月 7 日に東京会館にて表彰式を開催した。

（８）第 25 回「読書感想画中央コンクール」の実施

「読書感想画中央コンクール」（毎日新聞社と共催）は、山口県・九州地区を除く 38 都道府県で実施した。今回から北海道が加わり 6,479 校から 610,175 点の応募があった。2014 年 2 月 28 日に如水会館で表彰式を開催した。

（９）第 4 回「どくしょ甲子園」の実施

読書会の成果を一枚の「どくしょボード」に表現することにより、多角的な読み方や読解力を育むことを目的に、「どくしょ甲子園」（朝日新聞社と共催）を実施した。応募数も第 1 回 215 点、第 2 回 506 点、第 3 回 545 点、第 4 回 631 点と伸びている。2014 年 1 月 25 日に浜離宮朝日ホールで表彰式を開催した。

(10) 第 43 回「学校図書館賞」の授賞

「学校図書館賞(運動、論文、実践の 3 部門構成)」は、平成 25 年 6 月 7 日に中野サンプラザで表彰式を開催した。学校図書館賞は、神奈川県相模原市立鵜野森中学校「言語活動の基盤となる学校図書館経営をめざして」。学校図書館賞奨励賞は、滋賀県草津市立山田小学校「学校図書館日本一プロジェクト～学校図書館を活用して、確かな学力の基礎づくりを」に授与した。引き続いて第 44 回「学校図書館賞」の募集を行った。

(11) 第 15 回「学校図書館出版賞」の授賞

「学校図書館出版賞」は、株式会社帝国書院の『日本のすがた』(全 9 巻)／帝国書院編集部編の刊行に授与した。平成 25 年 6 月 7 日に中野サンプラザで表彰式を開催した。

(12) 第 19 回「日本絵本賞」の授賞

「日本絵本賞」、「日本絵本賞読者賞」(毎日新聞社と共催)の表彰式は 2014 年 3 月 26 日に毎日ホールで開催した。日本絵本賞大賞は、「きょうはマラカスのひ：クネクネさんのいちにち」樋勝朋巳文・絵(福音館書店)。日本絵本賞は、「あんちゃん」高部晴市作(童心社)と「カエルのおでかけ」高島那生〔作〕(フレーベル館)。日本絵本賞翻訳絵本賞は、「はしれ、トト！」チョ ウンヨンさく / ひろまつゆきこやく(文化出版局)。日本絵本賞読者賞【山田養蜂場賞】は、「キリンがくる日」志茂田景樹文 / 木島誠悟絵(ポプラ社)。

(13) 第 37 回「絵本週間」の実施

優れた絵本文化の発展と、教育の場や家庭にいつそう絵本読書が定着することを願って「絵本週間」を 2014 年 3 月 27 日～4 月 9 日まで実施した。

☆ (14) 学校図書館スーパーバイザー制度の拡充と活動の普及

全国 S L A「学校図書館スーパーバイザー」を各県 S L Aからの推薦を受けて、委嘱した。

(15) 全国 S L A 学校図書館活動推進委員会の活動の展開

各県 S L Aの元役員や学校図書館の研究・運動に実績のある退職教員等で構成する学校図書館活動推進委員会を拡充し、全国 S L Aおよび各県 S L Aの活動を強化した。

2 学校図書館及び青少年の読書に関する調査研究

学校図書館及び青少年の読書に関する調査研究については、本年度は以下の事業を実施する。

(1) 「学校図書館基準」の作成

「学校図書館基準」の作成は、できなかった。

(2) 第 59 回学校読書調査の実施

調査時期は 2013 年 6 月第 1・2 週、全国の小・中・高等学校 117 校の 11,009 名の児童生徒から回答を得たものを機関誌『学校図書館』11 月号で公表した。

(3) 平成 25 年度学校図書館調査の実施

調査時期は 2013 年 6 月、全国から 3%の学校を無作為抽出し、小・中・高等学校 628 校(回収率 49%)から回答を得たものを機関誌『学校図書館』11 月号で公表した。

(4) 市区町村における学校図書館図書整備費予算化の実態調査の実施

調査時期は 2013 年 5 月、1,191(回収率 68.5%)教育委員会から回答を得たものを機関誌『学校図書館』8 月号および 2014 年 4 月号で公表した。(学校図書館整備推進会議と共催)

(5) 「学校図書館評価基準」の普及

「学校図書館評価基準」の普及には至らなかった。

☆（６）地区学校図書館研究大会の開催

隔年で開催している地区学校図書館研究大会を次の９地区で実施した。

第 40 回北海道学校図書館研究大会	9 月 20 日・ 9 月 21 日	北海道小樽市
第 36 回東北地区学校図書館研究大会	11 月 7 日・11 月 8 日	青森県八戸市
第 32 回関東地区学校図書館研究大会	8 月 1 日・ 8 月 2 日	栃木県宇都宮市
第 27 回北信越地区学校図書館研究大会	10 月 10 日・10 月 11 日	富山県富山市
第 36 回東海地区学校図書館研究大会	8 月 7 日・ 8 月 8 日	愛知県豊橋市
第 43 回近畿学校図書館研究大会	8 月 8 日・ 8 月 9 日	京都府京都市
第 28 回中国地区学校図書館研究大会	11 月 7 日・11 月 8 日	島根県浜田市
第 26 回四国地区学校図書館研究大会	10 月 31 日・11 月 1 日	徳島県三好市
第 36 回九州地区学校図書館研究大会	8 月 1 日・ 8 月 2 日	沖縄県豊見城市

☆（７）第 18 回「学校図書館夏期セミナー」の開催

北海道函館市において、8 月 5 日・6 日に「学校図書館夏期セミナー」を開催し、北海道を中心に全国から 170 名が参加した。

☆（８）第 19 回学校図書館関係科目担当大学教員研究会の開催

2013 年 12 月 7 日・8 日に学校図書館センターおよび国立国会図書館子ども図書館にて、「学校司書の研修の在り方」をテーマに開催した。23 名が参加した。

☆（９）N I E シンポジウム（仮称）の開催

2013 年 6 月 22 日に「N I E と学校図書館セミナー」を日本プレスセンターで開催した。全体テーマは「『読書センター』『学習・情報センター』としての N I E」、89 名が参加。

☆（10）海外学校図書館研究視察の実施

海外視察は実施しなかった。

☆（11）I A S L インドネシア大会の視察

2013 年（平成 25 年）8 月 26 日（月）から 30 日（金）にインドネシアのバリ島で開催される、I A S L 大会の視察研修を実施した。

3 各都道府県学校図書館研究団体の活動の推進

各都道府県学校図書館研究団体（以下、「各県 S L A」という）の活動の推進については、本年度は以下の事業を実施する。

（１）各県 S L A 事務局長会議の開催

全国 S L A の事業、組織、活動について連絡調整を図るため各県 S L A 事務局長会議を 2014 年 2 月 6 日に開催した。

（２）全国 S L A と各県 S L A との研修会等の実施

共催の研修会は開催できなかった。

（３）機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の活用と普及

全国学校図書館スーパーバイザーや各県 S L A の協力を得て、機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の見本誌を配布した。

（４）各県 S L A の W e b サイト作成

全国 S L A の W e b サイト上に各県 S L A の W e b サイト開設の問い合わせは、1 県からあり、調整したが開設には至らなかった。

(5) 『各県交換情報』の作成と活用

『各県交換情報』は、あまり活用されなかった。

(6) 各県SLA組織訪問の実施

組織訪問は行わなかったが、地区大会等で各地区のSLAの関係者と情報交換を行った。

(7) 全国SLA研究協力員の委嘱

「全国SLA研究協力員」の委嘱はできなかった。

(8) 各県SLAへの研究助成

各県SLAの研究活動を支援するために研究助成を行う。

☆ (9) メールマガジンの活用

メルマガ会員も706まで伸びたが、当面2,000を目標としたい。

4 学校図書館及び青少年の読書に関する出版物の刊行

学校図書館及び青少年の読書に関する出版物の刊行については、本年度は以下の図書及び雑誌を出版する。

(1) 機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の刊行

機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の購読者数は、10年前の6割程度と落ち込んでいるので購読者数を増やす努力が急務である。

(2) 写真ニュース『としょかん通信』の刊行

『としょかん通信』の購読者数も減っている。学校数の減少の影響もあるが、これ以上落ち込まないための努力が急務である。

☆ (3) 『学校図書館必携』(仮称)の刊行

『学校図書館必携』は刊行できなかった。

(4) 『学校図書館 基本図書目録2013年1月～2013年12月版』の刊行

『学校図書館 基本図書目録2013年1月～2013年12月版』を2月28日に刊行した。

(5) 『新しい教育をつくる司書教諭のしごとシリーズ』の刊行

編集段階であり、刊行に至ってない。

(6) 『集団読書テキスト』の重版

中・高校生向きの『夏の階段』(梨屋アリエ)『卒業旅行』(角田光代)の2冊を6月に刊行した。小学生版『ばかじゃん!』『一房の葡萄』『ひとりぼっちの動物園』、中・高校向き『勝とうとするから意味がある』を増刷した。

☆ (7) 『はじめよう学校図書館』の刊行

『読書生活をひらく「読書ノート」』(杉本直美)5月、『気になる著作権Q&A』(森田盛行)7月、『読書イベントアイデア集<中・高校生編>』(高見京子)2月を刊行した。

(8) 『よい絵本』Web版の刊行(改訂)

特に改訂しなかった。

☆ (9) 『海外学校図書館視察報告書』(仮題)の刊行

海外視察を行わなかったため、刊行しなかった。

5 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

その他この法人の目的を達成するために必要な事業として、本年度は以下の事業を実施する。

(1) 公益社団法人化の基盤整備

2012 年 4 月 1 日の公益社団法人化を受け、公益社団法人としての基盤整備を進めるため、経営コンサルタントの協力を求めている。

(2) 学校図書館講演会の開催

2014 年 3 月 7 日に立命館大学の湯浅俊彦教授を招いて学校図書館講演会を開催した。

(3) 学校図書館研究資料室の整備充実

学校図書館に関する基本的な資料の整備充実を図るため、図書館管理ソフトを導入した。

(4) 「学校図書館げんきプロジェクト」による継続支援

東日本大震災で被害に遭った岩手・宮城・福島県の学校図書館の復興支援に必要な募金活動を行っている。